

会議名	第1回坂出市まちづくり基本構想審議会
開催日時	平成27年7月22日(水) 午後2時～4時
開催場所	坂出市水道局3階大会議室
出席委員	尾崎 健, 新谷 五十雄, 明石 正子, 井上 徹, 宮崎 泰徳, 河合 博一 久保 勝是, 國時 忠能, 宮川 崇, 斉藤 恵子, 赤尾 康造, 高塚 創, 木原 光治, 土井 智司, 中橋 恵美子, 林 美模, 篠原 光一, 山本 淳一
欠席委員	町川 博俊, 三野 八重子

会議の経過および発言要旨

1. 開会

●事務局

定刻がまいりましたので、第1回坂出市まちづくり基本構想審議会を開会いたします。
本日はご多忙にもかかわらず、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。
まず、委嘱状につきまして、時間の都合上、机上配付とさせていただいております
こと、ご了承願いたいと存じます。

2. 市長挨拶

3. 委員紹介

4. 会長・副会長の選出

●事務局

続きまして、坂出市まちづくり基本構想の策定に関する条例施行規則第4条第1項
の規定によりまして、審議会の会長および副会長の互選を行いたいと存じます。
互選の方法は、どのようにいたしましょうか。

●委員

事務局案をお示しいただきたい。

●事務局

それでは、事務局案をとということではありますが、よろしいでしょうか。

(委員一同承認)

ご異議がないようですので、事務局案をご提示申し上げます。

会長に坂出市連合自治会会長 尾崎 健様、副会長に坂出商工会議所会頭 新谷 五十雄様をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

(委員一同承認)

ご異議がないようですので、そのように決定させていただきます。

5. 会長挨拶

6. 諮問

(市長より会長に諮問書を手渡す。)

7. 審議方法について

●会長

ただいま、市長より坂出市まちづくり基本構想および地方版総合戦略の策定について諮問を受けました。

つきましては、十分に検討して審議を進めてまいりたいと思います。

それでは、これからの審議の方法等について、事務局より説明願います。

●事務局

事務局よりご説明申し上げます。

先ほど申し上げましたように、「まちづくり基本構想」と「総合戦略」は密接に関連しており、両者の整合性に十分留意することが必要であります。

一方で、基本構想と地方版総合戦略を同時進行していく場合、内容も非常に広範多岐にわたることや、総合戦略については、10月末までの策定を予定しており、より機

動的な体制が必要となること、また、「人口ビジョン」と「総合戦略」につきましては、国より、産業界・教育機関・金融機関・労働団体・メディアなど、各界の幅広い意見が反映される形で議論することが望ましいとの指針が示されていること、などを勘案いたしまして、審議の方法としましては、この審議会に分科会、いわゆるワーキンググループを設けまして、その中で「人口ビジョン」と「総合戦略」について議論していただくことにより、審議会全体として「人口ビジョン」や「総合戦略」との整合性を図りつつ、「まちづくり基本構想」の審議を進めていただきたいと思います。

つきましては、坂出市まちづくり基本構想の策定に関する条例施行規則第6条の規定に基づき、分科会の設置をお願いいたしたいと考えております。

8. 分科会編成・分科会長選出

●会長

ただいま説明がありましたように、「人口ビジョン」と「総合戦略」につきましては、分科会にて審議を進めてまいりたいと思いますのでご了承願います。

分科会の委員につきましては、条例施行規則第6条第2項の規定により、会長が指名することとなっておりますので、先ほどの事務局の説明や男女比率等も考慮したうえで、私より指名させていただきます。

分科会委員には國時委員、高塚委員、木原委員、土井委員、中橋委員、林委員、三野委員の7名にお願いします。

次に、分科会長につきまして、条例施行規則第6条第3項では、分科会委員の互選により定めることとなっておりますが、いかがいたしましょうか。

●委員

会長一任。

●会長

会長一任というご意見がございましたが、よろしいでしょうか。

(委員一同承認)

それでは、分科会には、香川大学大学院の高塚先生が学識経験者として参加しておられますので、高塚委員に分科会長をお願いすることで、分科会の開催を省略し、決定してよろしいかお諮りいたします。

(委員一同承認)

ご異議がないようですので、高塚委員に分科会長をお願いいたします。

9. 審議

(1) 坂出市まちづくり基本構想の基本目標と施策体系(案)について

●会長

それでは、審議に入りたいと存じます。

まず、坂出市まちづくり基本構想の基本目標と施策体系(案)について、事務局の説明を求めます。

●事務局

(説明)

●会長

ただ今の説明について、ご質問・ご意見等はございませんか。

●委員

全国的に見ても人口減少が進んでおり、高齢化社会の問題や出生率の面でも課題があり、仮に出生率が2.07に上がっても1年間で50万人程度減少していきたくらいと言われ、様々な議論がされている。最近目にした雑誌やフォーラム等によると、小さな山村が合併せず出生率を上げているようである。具体的には、その地域の産業と生活基盤をどのようにして作っていくか、雇用を生み出していくかを皆で検討し、地域の良さを見直し、産業を生み出して雇用に繋げている。

審議会では、坂出市の特性や良さ、地域の様々な中小企業等を活かして、市の活性化に繋げていけるような計画を検討していく必要があるのではないかと。

●事務局

各分野の特徴を活かし、盛り込める内容を計画に盛り込んでいきたい。

●委員

資料を見ると、坂出市の計画だと言われないとわからない。つまりは、他市におい

でも同様な内容なのではないか。

総花的に進めていく必要があることは理解しているが、可能であれば坂出独自の内容をこのように進めていくということがわかるものにしていけると良い。

●委員

同じ思いである。坂出市らしさをどのように盛り込んでいけるかが重要であると思う。どこを切っても金太郎飴の状態では魅力がない計画になってしまう。はっきりと特徴のあるような計画にしていくべきである。今のままでは独自性が薄く感じる。

また、地方創生の関連で、隣の宇多津町は人口が増えると推計されている。なぜ増えるのか理由がはっきりと掴めないところもあるが、そうしたことも踏まえた上で、選択と集中で事業等に取り組んでいくべきであり、その内容を文章化していくことが必要だと思う。

●委員

坂出の産業の実態がわからない。中小企業や産業構造の実態についてホームページ等を見てもわからないので、資料を頂いた上で議論できれば、坂出の特性を生かしたまちづくりを進めていく際に話がしやすいのではないかと。

また、例えば坂出の塩をブランド化してお土産にするなど、様々な取組の展開も可能なのではないかと。

●委員

市外の声をもっと聞くべきではないか。坂出市のイメージについて、どのような印象を持たれているのかを知るべきではないか。10年間の計画であることから、観光客や学識経験者、学生等、様々な層に聞くべきだと思う。

市民アンケートの結果を見ると、回答者のほとんどが高齢者であることに対して不安を感じている。元気でにぎやかなまちをつくるのであれば、もっと若い人の声を集めたらどうか。その声を基本構想に盛り込むべきではないか。

また、まちづくりの将来像について「要衝」という言葉を使っているが、表現として重すぎるので、もう少し中学生でも親しめる言葉がほしい。

●委員

坂出の強みを伝えていくことが大切であり「坂出、もっと自信を持とう」と感じている。というのも、自宅の近隣にマンションができ、すぐに売れた。そこに住まわれている高松から来られたご家族（三児を持つお母さん）に話を聞くと「こんなに住み良いところはない。学園通りに幼小中高すべてがあり、歩いて通えるような場所は他にはない。」と言われていた。

四国の玄関口として交通機能が充実していることも強みとして捉え、自信を持ってよいのではないかと。人口増に繋げるためには、マンションや住宅等をつくり、素晴らしいポテンシャルを持つ坂出に住んでもらい、子どもが住みやすいまちだと伝えていくべきだと思う。災害が少ないことも含めて、ポテンシャルの高いまちだと思う。

●委員

少子高齢化が深刻化している。高齢化は放っておいても進行するが、少子化はみんなが意識的に動かないと子どもが増えない。

女性が職場に進出して一生懸命仕事に取り組み、結婚に意識が向かないでいる状況にあり、子どもを産まない人や離婚する人もいる。一方で、男性も相手の女性がいなような状況も出ている。そういったことから、市民が一体となり力を合わせて、仲人となり結婚を勧め、子どもを増やしていく。移住してでも増やす。

都会では人口が増えているように言っているが、日本全体としては本当に減っている。そういった現実を受け止め、結婚して子どもを作ってもらうことに繋げていくことが大事だと思う。

●委員

多くの意見が出されているが、どれほど計画に反映されるのか教えて欲しい。

●事務局

頂いたご意見は、積極的に盛り込むよう検討していく。

●委員

先日、坂出北インターチェンジがフルインター化することがニュースで取り上げられていたが、順当にいけば5年後にフルインター化になると予想している。

これにより、さぬき浜街道の交通量が増えると思うが、街道を東から通ると坂出のまちが見えないで、宇多津に入ってやっとまちが見えるような状況になっている。まちづくり基本構想は坂出の10年計画なので、その内容を活かした政策、例えば緩衝緑地の在り方の検討などを盛り込んでもらいたい。

(2) 地方人口ビジョンおよび地方版総合戦略の策定方針（案）について

●会長

次に、地方人口ビジョンおよび地方版総合戦略の策定方針（案）について、事務局の説明を求めます。

●事務局

(説明)

●会長

ただ今の説明について、ご質問・ご意見等はございませんか。

●委員

総合戦略の基本目標の1つはコンパクトシティ化していく内容だと思うが、これまでもコンパクトシティに関する取組が行われてきたが、失敗しているという話も聞く。

都市中心部に機能を集中させるのは良いが、周辺部に住むお年寄りの足がなく、中心部に行くことができないといった問題がある。地域で拠点を作り、様々な商店や病院、介護施設等を含めてネットワーク化していくことで地域おこしに繋がり、住み良い環境を構築できるのはないか。従来の集落機能集約型であれば、周辺部は放ったらかしになるので、やり方を検討していく必要がある。

●委員

坂出市の労働力人口が減っている。企業が他県や他市に行ったりして、大きな企業の立地が進んでいないのが現状である。働く人間が坂出市に集まれば、それに伴い住居を移転してくると思う。あるいは他市で働く場があっても、住み良い環境だから坂出市に住んで他市へ働きに行くこともあると思う。

また、番の州工業地帯の企業の採用人数が減っている。海外へ視野を広げた企業は国外へ労働者を出している状況なので、今後、企業立地を進めていく上では、もっと加速して取組を進めないといけないと思う。港がある有利な立地であるが、対面に水島コンビナート等も存在する。そういった環境を踏まえながらも、もっと働ける職場環境をつくるために、行政が先頭に立って企業誘致を進めてもらいたい。

●委員

企業誘致の話に関連して、スマートインターチェンジという方式があり、今まではパーキングエリア等のみでの対応だったのが、坂出北インターチェンジでも対応可能になったため、フルインター化を早急に進めて欲しい。

ハーフィンターであることから企業が転出したといった話も聞いた。物流・防災・観光の3本柱を軸に、フルインター化することで企業も呼び込んで来ることができると思う。

●委員

番の州工業地帯では1960～70年代に、海外に対して輸出等を行っていた。しかし、大きな会社は海外戦略ということで海外へ行く企業が増え、番の州工業地帯も縮小された。大企業を誘致すれば雇用が生まれるかもしれないが、会社の勝手に撤退したり、縮小や移転することもある。

一方で、地元の中小企業は雇用が多く、地域経済を支えている。そういった土台となる中小企業が商店、農業、漁業、林業などにおいて雇用を確保していくことで、地域で経済を回していけるのではないかと。土台がしっかりしていないと、企業誘致をしても財政が潤っていかないのではないかと。

また、地元企業が第1次産業を応援しコラボレーションするような取組ができれば、地域経済の活性化にも繋がっていくと思う。

●委員

坂出市の市有財産、特に不動産を考えると、旧坂出市立病院の跡地がある。この土地は住宅用の土地として、学校や駅が近く、通勤・通学にも便利だと思う。

坂出市にある現状の不動産をうまく活かしてもらいたい。民間に利用してもらって税収増に繋がったり、有効利用していくことで人口を増やしていけるのではないかと。計

画の内容等に盛り込んでもらえないか。

また、空き家対策に関連する措置法が施行されたと思うが、有効利用していくことを具体的に示す施策や方針を基本構想の中に盛り込んでいくと良いと思う。

●事務局

様々な意見を頂いたが、できることから取り組んでいくスタンスで臨んでいきたい。総合戦略の中で、そういった部分を整理し、盛り込んでいけるように検討できればと思う。

●委員

5年後には東京オリンピックがあるが、海外の人を視野に入れた取組は考えているのか。

●事務局

その内容は観光面になるかと思うが、香川県でも海外観光客への対応を考えているので、坂出市としても対応を検討していきたい。

●委員

海外の方の移住に関しても考えているのか。

●事務局

具体的な内容までは検討できていないが、今後の各会議などで議論を進めていきたい。

●委員

坂出市は住み良いまちであることがアンケート結果から見てもわかる。そういったことも加味して、各課が計画を検討し、総合戦略を検討していくと思う。

世代や性別の枠を超えて、高齢者や子どもを含めた子育てのための施策として、お年寄りに活躍してもらう取組や、産業と高齢者のマッチングなども考えられると思うので、計画の方向性としてすり合わせていってはどうか。

できるだけ横の関係を密にして進めていければ良いと思う。今住んでいる人が住み

たいと思えるまちにするための検討を進めていければと思う。

10. 閉会

●会長

それでは、時間も相当経過しておりますので、本日の審議はここで終了させていただきます。なお、次回の審議につきましては、後日、事務局より案内状を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上で、第1回坂出市まちづくり基本構想審議会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。